

ダメじゃない、ムダじゃない!

徳山高専 土木建築工学科

～ダムの推し事～

☆ピーパー界限

○5年 菊野 愛佳 2年 秋山 さくら 1年 國富 彩花
5年 原田 青海 2年 山田 真尋 1年 富永 海里

捉えた課題

- ・ダム整備に伴う**否定的**な考えが強いため、ダムの**観光資源**としてのポテンシャルを生かせておらず、ダムの魅力を十分に発信できていない
- ・ダムをつくらうとした経緯や役割、歴史などを知る機会が少なく、ダムは私たちの生活に欠かせないものであるという事実が浸透していない

提案内容

令和の“多目的”ダム

～ダム×○○＝「行きたい・知りたい、もう一度」～

ダムに人を惹き付ける遊びの施設“**行きたい**”・ダムの必要性を伝える学びの施設“**知りたい**”を集約

- スリル&ヒミツ満点、ウォータースライダー
⇒滑りながら学ぶ、新たなアトラクション
- ダム躯体を活用したプロジェクションマッピング ～ダムの自己紹介～
⇒ダムの過去（歴史）を現在の技術を駆使して魅せる・伝える
- ご当地グルメ「ダムフロート」を堪能できる
⇒地元の新たな名物に
- プラネタリウム風資料館
⇒空を見上げるようにダムが生まれるドキュメンタリーを鑑賞



効果

利用者

- ・新たなレジャースポットが身近にでき、遊びを満喫しながらダムについて学べる

管理者

- ・身近なダム(末武川ダム)が地元(周南市)の観光名所となり地域の活性化につながる
- ・インフラに興味を持った後継者世代が増えることで、将来の土木業界を担う人材を確保できる
- ・ふるさと納税を活用し、新たな収入源を得ることができる

推しポイント

ダムを**観光資源**としてとらえ、**遊ぶ**中でその大切さを**学ぶ**仕組みを構築
→ **現場**からインフラの大切さを発信することが、**地域活性化**に直結

